



平成20年9月18日

各 位

会社名 小林産業株式会社
 代表者名 取締役社長 野上光男
 (コード番号 8077 大証一部)
 問合せ先 取締役管理部門担当 松井直樹
 (TEL: 06-6535-3690)

(訂正)「平成20年10月期 第3四半期財務・業績の概況」の一部訂正について

平成20年9月12日に発表いたしました「平成20年10月期 第3四半期財務・業績の概況」に一部記載の誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

訂正箇所1

1. 平成20年10月期第3四半期の連結業績(平成19年11月1日～平成20年7月31日)

(1) 連結経営成績 1ページ

<訂正前>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年10月期第3四半期	19,115	6.1	<u>889</u>	37.3	901	△5.8	468	△10.4
19年10月期第3四半期	18,022	4.3	655	9.6	956	30.2	522	28.1
19年10月期	24,123		908		1,135		583	

<訂正後>

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年10月期第3四半期	19,115	6.1	<u>899</u>	37.3	901	△5.8	468	△10.4
19年10月期第3四半期	18,022	4.3	655	9.6	956	30.2	522	28.1
19年10月期	24,123		908		1,135		583	

訂正箇所2

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報 2ページ

<訂正前>

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に伴う世界経済の減速懸念に加え、原油価格や原材料価格の高騰に伴う物価上昇により個人消費が伸び悩み、景気の先行き不透明感が依然として続いております。

このような状況のなかで、当企業集団は仕入価格の上昇を販売価格に転嫁の徹底を図りました。これらの結果、売上高は19,115百万円（前年同四半期比6.1%の増加）、営業利益は889百万円（前年同四半期比37.3%の増加）、経常利益は901百万円（前年同四半期比5.8の減少）、第3四半期純利益は468百万円（前年同四半期比10.4%の減少）となりました。

<訂正後>

当第3四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に伴う世界経済の減速懸念に加え、原油価格や原材料価格の高騰に伴う物価上昇により個人消費が伸び悩み、景気の先行き不透明感が依然として続いております。

このような状況のなかで、当企業集団は仕入価格の上昇を販売価格に転嫁の徹底を図りました。これらの結果、売上高は19,115百万円（前年同四半期比6.1%の増加）、営業利益は899百万円（前年同四半期比37.3%の増加）、経常利益は901百万円（前年同四半期比5.8の減少）、第3四半期純利益は468百万円（前年同四半期比10.4%の減少）となりました。

以 上